

次号予告

特集 「情報」の教育とOR

総論：「情報」・数学・ORの教育	中森眞理雄（東京農工大学）
大学における情報教育—大学教育の変化の中で—	竹田尚彦（愛知教育大学）
高校教科「情報」の内容とその現状	中野由章（千里金蘭大学）
教科「情報」の实践と課題	天良和男（東京都立駒場高校）
教科「情報」における問題解決学習—「総合実習」への取り組みと年間計画の工夫—	小原 格（東京都立町田高校）
韓国の初中等情報教育	和田 勉（長野大学）

編集後記

●本年度より2年間、オペレーションズ・リサーチの編集を担当することになりました。本誌は、歴代編集委員長をはじめ、多くの方々のご尽力によって毎月発行されてきた伝統ある機関誌です。編集委員会一同、より充実した雑誌になるよう取り組んでいく所存です。しかし責任者の私といえば、自分の担当期間中に企画が間に合わないとか、原稿が集まらないといった事態が起きはしないかと心配で、ただただ右往左往している感じです。

●本誌の特集は、以下の3つに大別できると理解しています。ORに関する最新の理論を分かりやすく解説したもの、ORの手法を適用した事例や応用研究、ORの周辺分野の動向や問題を紹介したもの、この3つです。これらを、読者の仕事、専門分野、年齢など

の構成を考慮して、バランスよく配置していきたいと考えています。また、OR学会50年の歴史を後世に残せるような読み物もできないものかと思案中です。いずれにしても、原稿の執筆はもとより、特集のオーガナイズや企画のご提案など、皆様のご助言、ご協力が不可欠です。よろしくお願い申し上げます。

●今月号の特集では、今年3月に鳥取大学で行われた第57回シンポジウムの講演者の方々に、講演内容を執筆していただきました。新しいシステムが新しい理論研究を要求し、この理論研究を応用してシステムが進歩する。まさに、ORにとって理想的な発展のサイクルが信頼性研究の場では実現しているようです。OR全体もこのような形態で発展していくことを期待すると共に、本誌ではそんなORの魅力をお伝えできればと思っています。（山下英明）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 山下英明(首都大学東京)

委員 池上敦子(成蹊大学)、岡野裕之(日本アイ・ピー・エム(株))、高野正次(日本電信電話(株))、齋藤彰一(株構造計画研究所)、高嶋隆太(東京大学)、高橋一喜(東京ガス(株))、田島博之(秀明大学)、田村一軌(財鉄道総合技術研究所)、田村亮二(キャノンシステムソリューションズ(株))、豊泉 洋(早稲田大学)、生田目崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、廣津信義(順天堂大学)、増田浩通(東京工業大学)、村井雅彦(株東芝)、渡邊 勇(財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成19年7月号 第52巻 第7号 通巻559号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 山下英明

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ